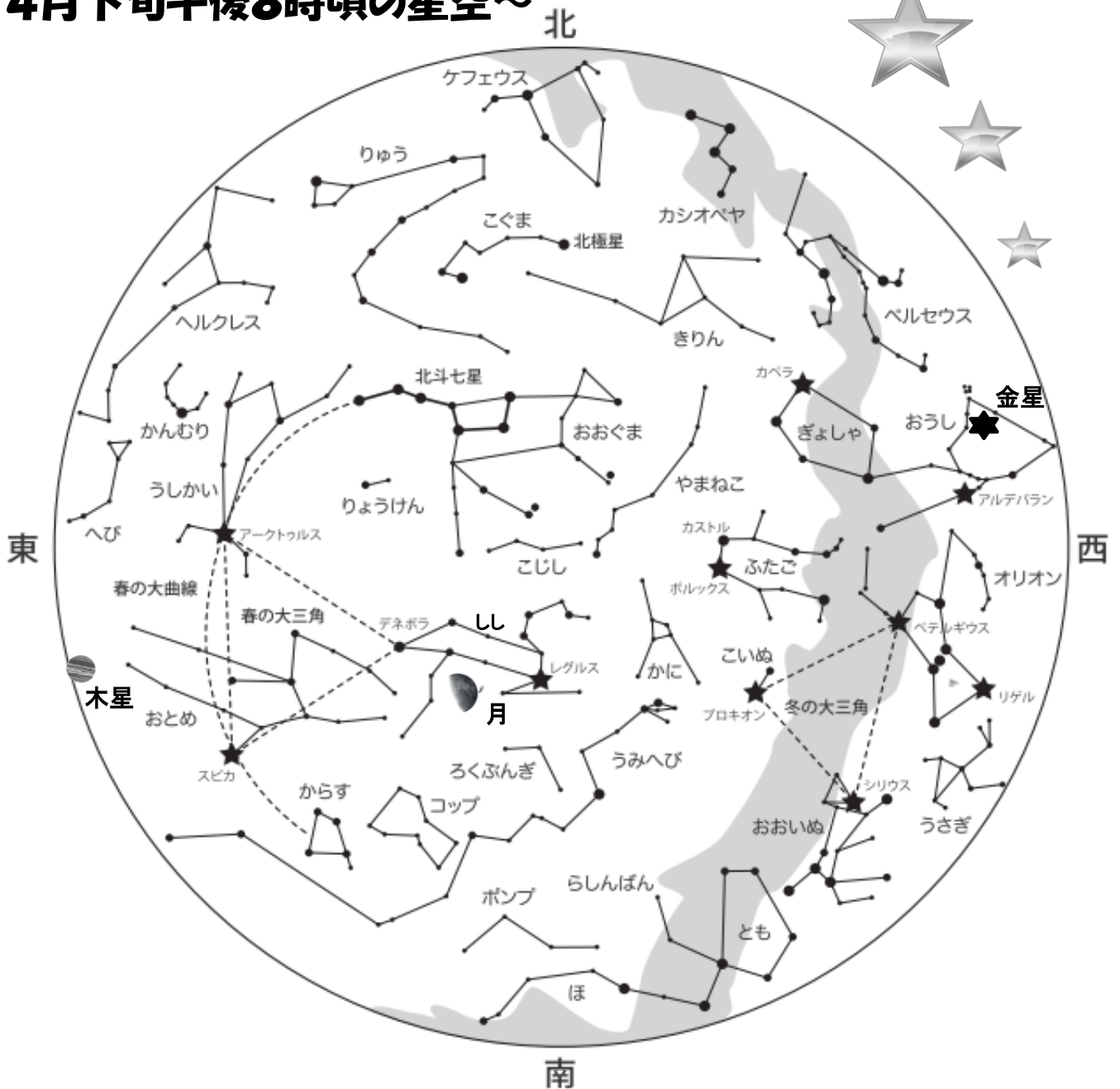


# 松江市立天文台～4月の天文教室～

平成30年 4月25日

## 4月下旬午後8時頃の星空～



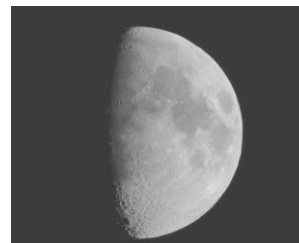
夕方少し暗くなった頃、西の空に明るい星が見えてきます。宵の明星「金星」です。  
西の空には「オリオン座」や「おおいて座」、「ふたご座」など冬の星座が見えています。東の空には、「しし座」や「おおぐま座」など春の星座が昇っています。  
明るい星を目印に星座を探してみましょう。

4月下旬午後8時頃の星空です。  
月、金星、木星の位置は4月25日現在のものです。  
各天体の見かけの大きさは強調してあります。  
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

## 今夜の月

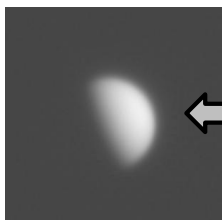
今夜の月は、月齢9

月の表面には火山の火口のような地形が無数に見られますが、これはいん石が衝突してできたもので、クレーターとよびます。天体望遠鏡で、クレーターが形作る複雑な地形をお楽しみください。



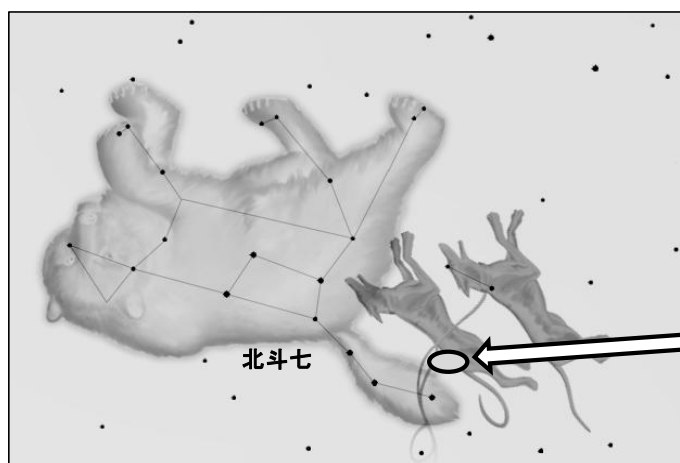
## 金星

金星は地球より内側で太陽をまわる惑星です。地球より太陽に近いので、太陽から一定の角度以上離れて見えません。9月頃までは、「宵の明星(よいのみようじょう)」として日没後の空に輝きます。



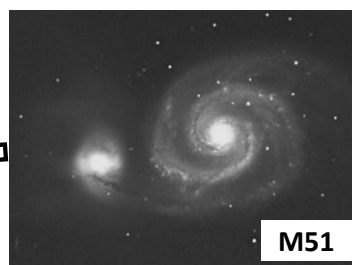
金星は厚い大気に覆われているため、表面模様は見えませんが、月のように満ち欠けが観察できます。

## おおぐま座とりょうけん座



おおぐま座は古くからある星座ですが、むしろ星座の一部である北斗七星の方が有名です。

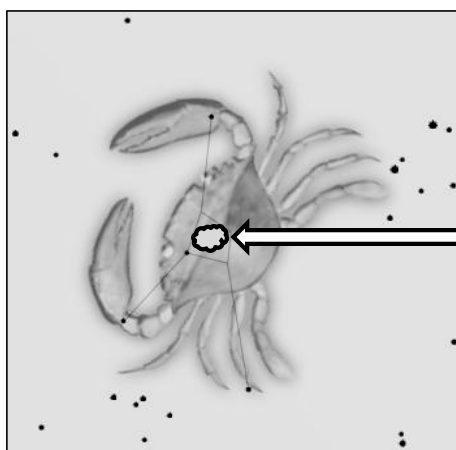
りょうけん座は、北斗七星の南にある小さな星座で、おおぐまを追う2匹の犬として描かれていますが、古代からの星座ではなく、17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。



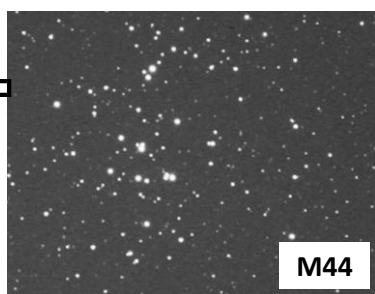
M51(子持ち銀河)  
ふたつの銀河がつながっている不思議な形をしている銀河です。  
地球からは、2510万光年の距離にあります。

M51

## かに座



かに座は小さく目立たない星座ですが、古くから星占いでよく知られています。ギリシャ神話では、英雄ヘルクレスに踏まれて命をおとした、お化けがにと伝えられています。



M44(プレセペ)

かに座のこうら付近を良く見ると、雲のような光のかたまりが見えます。  
これは散開星団M44プレセペで、双眼鏡で見ると星の集団であることがわかります。  
地球から510光年の距離にあります。

M44

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。  
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。  
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

## 次回の天文教室

開催日 5月23日(水) 20時から21時まで  
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)  
事前の予約は不要です。



★ Matsue Astronomy Club  
MAC 松江星の会